

佳作

ずっとかわらないわたしのゆめ

茨城県 日立市立油縄子小学校一年 高橋 栞愛

わたしのしょうらいのゆめは、ようちえんのせんせいです。

わたしがようちえんせいのおとき、たんにもつてくれた三にんのせんせいがいました。

どんなときもやさしくて、あかるいえがおで、いつもキラキラしていたせんせいたち。

わからないことや、できなかったことをいつもやさしくおしえてくれて、みんながだいすきなせんせいのそんざいに、とてもあこがれていました。

わたしがようちえんのせんせいになりたいとおもったきっかけは、クラスのおともだちからいやなことをされて、ようちえんがいやになったとき、せんせいがたすけてくれて、ちからになってくれたからです。

そんなことがあったわたしは、だいすきなようち

えんにはじめていきたくないとおもいました。

とてもつらかったけど、おとうさん、おかあさん、たんにもつてくれたわたしの一ばんのみかたになつて、ちからになってくれたから、まただいすきなようちえんにいけるようになりました。

なにかあったときに、おともだちにたいしてはつきりつたえられない、がまんしてしまうせいかくだったわたしにきづいて、つたえるゆうきをくれたのも、たんにもつてくれたせんせいでした。

せんせいは、「がまんしないでいいんだよ、もあちゃんならできるよ。」

いつもやさしくはげましてくるたびに、わたしのこころはみたされていました。

そのおかげでいまでは、いえなかったことをしっかりじぶんのくちでつたえられるようになりました。

せんせいになるゆめにむけて、いま一ばんがんばっていることは、ピアノとべんきょうです。ピアノをはじめたころはむずかしくて、レッスンにいくのがいやになったこともありました。がくふもよめないし、ゆびのうごかしかたもおもうようにいかなのがくやしかったです。

そんなときもたんにんのせんせいは、じぶんのけいけんをもとに、いっしょになやんで、ゆうきづけてくれました。にがてだったピアノも、いまではだいすきなピアノになりました。

ようちえんのせんせいになりたいというゆめをもつてたことをたいせつに、みんなからあいされる、そしてたくさんのあいをあたえられるせんせいになるゆめをかなえたいとおもいます。